



みんなで生活道の草刈



松本秀治議員

●松本 町長は、全町

A **Q**
**町長の公園構想は
地域と行政が一体化し
取り組む**

農村公園化構想を打ち出そうとしている。なかでも、道路整備とその路側雑草処理が、美観的にも安全上にも全町公園化に必須な事と思われる。

特に、道路雑草の処理に関しては永遠の課題と言っても過言ではない。

先般、緊急雇用対策事業で防草コンクリート工事をされたが、現在の状況は雑草に覆われつつあり、このままでは防草コンクリートの意味を成さない現状である。

今後、全町公園化にするのであるのなら、この問題は大きな問題でありどう取り組むのか伺う。

■町長 構想は、「品格ある農村社会」の実現をしようとするもので、現在、構想に向けて地域との意見交換を実施し、様々な視点から意見を頂いている。

本構想の実現には、地域と行政が一体となることが不可欠。

防草コンクリートは一定の効果があると考える。

今後も除草については地元をお願いしたい。



徳光義昭議員

●徳光 小中連携の推進と、たくましく「生きる力」の施策は。

■教育長 小中連携は学力向上を図る上で重要である。

小中9年間の学びをつなぐ面で、統合後も連携を密に推進したい「生きる力」は激動の社会を生き抜く力で、「確かな学力」をつけ

A **Q**
**小学校統合と教育方針を伺う
新教育プラン策定と知情意の推進**



望まれる多目的グラウンド

る。「豊かな心」を育む。「キャリア教育」の推進。「信頼される学校」など知情意の完成を推進。

A **Q**
**世羅小学校の
施設整備を
過疎計画で
改築したい**

●徳光 ①グラウンド

の暗渠排水、安全なバツクネット、グラウンド周辺のフェンスの整備。②50mプールは40年経過しているが。③通学バスの進入路、乗降場の整備を。

A **Q**
**多目的グラ
ウンド(運動公
園)の整備を
計画を検討**

■町長 ①②グラウンド排水不良やフェンスの劣化、プールの機能不全やコンクリートの劣化がある。順次過疎計画で検討したい。③町道改良で待避所の検討をしたい。屋内体育館北に計画。

●徳光 近年スポーツ人口は増加し喜ばしいことである。

一方スポーツ少年団、高齢者のスポーツ愛好者に十分対応できない。

特に甲山小、大田小のグラウンドは、一般と併用され問題があり、早急にグラウンドの整備を。

■町長 笑顔が溢れる健康な町は、大変に重要である。財政健全化路線を堅持し計画を検討したい。



安佐長秀議員

Q 財政健全化の取り組みと 今後の削減策は 引き続き改革の原点に 思いを寄せる

●安佐 行財政改革プランでの事業仕分けによる見直しはどう進んでいるか。これまでの効果総額は。

■町長 H17～H20年度に取り組んだ65項目の事業実績で約13億円の財源確保があった。定員適正化計画で35人を削減し、職員の適性を考慮し配置に努めている。

Q 緊急経済・雇用対策の取り組みと計画は 公共事業など 効果的な実施 に努める

●安佐 町独自の新たな活力を創出する時点で官民協力し、もって行政が汗をかくべきだ。人づくりに早急に取り組む、観光振興では切れ目のない戦略的独自政策が必要だ。

■町長 本年度も雇用対策基金を活用し、独自事業として基幹産業の農業を軸とし農業後継者確保事業を実施したい。

長年、培われてきた人づくりの成果と、地理的にも経営感覚に秀でた人材の宝庫でもある産業・雇用対策を始めた。

誘客・回遊性・滞在時間を視点に各観光施設の連携の枠組みやルート化に向け、仕組みづくりを行う。

Q 教育行政要覧は 確認できるか 基礎的・基本的 な学習内容の 習得を重点に

●安佐 統合問題などで重要な時期に肝心の教育長が不在で児童・生徒に影響はなかったか。不登校問題では学校と家庭の連携が本当にとれるのか。

■教育長 職務代理を中心に関職員一丸となつて努力し、統合への取り組みを行っている。

不登校問題は悩みや不安を取り除く取り組みをしてきたが、本年度は「心のふれあい相談員」を配置し家庭・保護者への関わりや適応指導の充実に努めている。



中村幸雄議員

Q ベッドタウン構想はないか A 定住対策として検討

●中村 少子高齢化の進行、景気の低迷による雇用情勢の悪化など

により町税の増加は見込まれない。今後、都市部への通勤も可能になるが、ベッドタウン構想はないか聞く。

■町長 本町の経済を支える生産年齢人口の減少に対しては、強い課題認識を持っている。



青山から町の連担地区を望む

生産年齢人口の確保には、雇用の場の確保が欠かせない。中国横断自動車道尾道松江線の部分開通により、近隣市町への通勤という選択肢も現実的なものとなり、あらゆる角度から事業の検討を行っている。

Q 全町農村公園化 構想の促進は 6本の柱を基 軸に取り組む

●中村 農村に存在する戦略的物資を活かした構想にどのように取り組む。

■町長 実現には、産業振興、教育振興、住民福祉、地域医療、安全安心、地域再生の6本の柱を基軸に取り組む。また食料・水・新エネルギー及びCO₂吸収源の4つの戦略物資についても、6本の柱の中で活用を図っていく。

Q 上水道・簡易水道事業の
今後は
要望地区の意思確認を
行い計画



奥田正和議員

●奥田 西世羅地区に
念願の給水が開始され
た。しかしながら、町
内には未整備地区がま
だまだ存在し、今後が
どのような計画で行わ
れるかの期待と、不安
がある。目標達成のた
めの費用は概算いくら
になり、財源をどこに
求めているのか。

■町長 現在の普及率
は人口対比55%（県は
93%）
要望提出のある宇津
戸・山福田地区の概算
事業費は、おおむね、
20億円と見ているが、
他の未普及地区は算出
していない。
財源は、国の補助金
と起債が主となるが、
農林省補助（55%）は
対象にならないので厚
労省（40%）補助に頼
るようになる。
新過疎法計画のなか
で十分に検討したい。



黒川地区 配水池

Q 全町農村公園
化の本年の柱
を示すべき
長い歴史に耐え
る構想を考える



豊田 勲議員

●豊田 放送内容が相
当改善され視聴が楽し
くなったが、①画面の
文字を大きく②定点カ
メラの利用を③委員会

Q ケーブルテレビもっと改善を
動画放送を充実したい

●奥田 町民と関係機
関の連携で進めるのは
良いことだが、町長の
柱となる提言を聞き、
それを実現化させる流
れも必要ではないか。
多くの観光客に来て
いただくことは素晴ら
しいが、先ず町民が楽
しむことが前提だ。

■町長 世羅高原6次
産業ネットワークよ
り「日本一大きく美し
く豊かな農村公園プ
ラン」の提案を受けた。
品格ある世羅台地を
形づくるため、20〜30
年かけた町民ぐるみの
運動事業にならなくて
はいけない。
構想の礎を築く初年
度として、町づくりの
イメージを共有し『誇
りある世羅』の取り組
みに最大の力を注いで
いく。

中継を④町内行事など
の放映増を⑤今後の重
点は。
■町長 ①文面を簡略
し大きくする②災害時
危険箇所・避難場所な
ど正確な放送をする③
個人情報や設備に問題
あるが検討する④人員
増員したので可能⑤動
画放送を充実したい。

Q 野積み堆肥はな
ど公害防止はな
い
堆肥の量は
町内に
2万5千トン

●豊田 ①野積みと屋
内の堆肥の量は②販売
計画は③製造工場に何
故、改善命令か④期限
内撤去は⑤環境条例の
改正を。

■町長 ①野積み1万
3千トン、屋内1万1
千トン②販売は進んで
いない③中身飛散、汚
水流失があったから④
県や地元と協議したい
⑤案は作成した。



自主番組の編集

Q 子宮頸がんワク
チンに補助を
国・県に財政
支援要望

●豊田 子宮頸がん
は、ワクチン接種で予
防できるがんである。
10代に投与することが
良いが料金5〜6万円
と負担が大変で、公的
補助と集団接種を検討
されたい。
■町長 10代前半に効
果が高いことから、本
人と保護者にも説明が
必要である。国・県に
財政支援を要望し、関
係機関とも連携を図り
たい。検診率が低い
ので啓発にも取り組ま
たい。

Q 米の戸別所得補償と米価の下落は

A 振興ビジョンによって

●矢山 7カ月連続下落する米価は、政府米の買入れを求めるべきでは。

今年の所得補償と担い手の育つ農家への取り組みは。

■町長 米価安定のために要望していく。コストのかからない

農業をめざし、振興ビ



矢山 武議員



農家の経営安定策は

ジョンをたてる。

6月末が締め切りで参加農家は判らないが増加すると思う。

Q 過疎計画と自治センター

A 医療負担は

A 自治組織と意見交換

●矢山 6年間の過疎計画が今年から始まる

が、自治センターの状況と集落をどう守るか。

集落の助け合いを強め、特に65歳以上の障がいのあるお年寄りの

医療負担3割の軽減をすべきではないか。

■町長 夢基金、補助金を活用し、活動が進んでいる。各自治組織

と意見交換を進め、医療費軽減を国に要望している。

Q 統合小の準備と通学対策は

A 準備委員会で検討

●矢山 小学校統合に向

け進んでいるが、学校のなくなる地域への取り組みは。

遠距離通学の児童への対策、特に低学年、障がい児への対応と費用は。

■教育長 準備委員会で協議している。3km

以上をバス通学で、自宅からバス停まで1km以内に想定している。

地域別児童会により、行事参加をはかり、閉校後の整備を進める。バスの運行費用は6千100万円を見込む。

Q がん検診50%以上に

A 受診啓発に努める

●西田 厚生労働省の委託事業である「がん

検診企業アクション」は、職場検診の受診を

促し、地方自治体が行う住民検診と合わせ、

国民のがん検診受診率をH23年度まで50%以

上をめざしている。

①本町職員のがん検診の受診率は。

②本町住民のがん検診の受診率は。

③本町は、H23年度まで50%以上をどのよう

に考えるか。

■町長 ①H21年度、96・9%。

②H21年度、胃・肺・大腸がん21・1%、

乳がん20・9%、子宮がん16・3%。



病院におけるがん検診

③一人でも多くの方に受診いただくため受診しやすい検診体制づくりに努める。

Q マイ辞書で学習意欲を高める

A 3・4年生に購入する

●西田 佐賀県唐津市は、H21年9月から市

内すべての小学3年生を対象に、国語辞典を無料配布している。

辞書を引く習慣を身につけ、言葉への好奇心を高めることが目的で、辞書引き学習と呼ばれ国語以外の教科でも、机に辞書を置き調べた言葉に付せんを貼り、子どもたちが学習結果を実感している。

本町でも取り組む考えはないか。

■教育長 3・4年生

については、初期段階での辞書の引き方などを指導するため、同一辞書を使用する必要があり、新たに町予算で購入する。